



防除作業の労力軽減へ！



▲左右のスナップエンドウにしっかりと薬剤の散布ができます！



1月20日、西之表市の安納地区にある山田一良さんの圃場で、無人農薬散布機を使用してスナップエンドウの防除作業が行われました。

西之表市にある空種子合同会社が入力した無人農薬散布機「XAG-R150」は、昨年度から試験的に防除を実施しており、今年度より本格的に稼働することになりました。この散布機の導入は全国でも初めての取り組みとなります。ドローンなどでの薬剤散布は平面な場所がほとんどですが、スナップエンドウのような立面に対応できるのが本機の特徴です。

委託作業となるため経費がかかることや、機械が旋回するための場所が圃場に必要になるなど運用面の課題はあります。しかし、防除作業に費やす時間と薬剤使用量は3割から4割軽減される上、細かい霧状で噴霧するため、付着ムラがなく、薬剤散布の効果が上がります。また、散布を行う作業者が薬を吸い込むことがなく、健康被害も軽減されます。

今回散布を行った山田さんは、「防除には毎回大変な労力を費やすので、高齢である私には大変な仕事。機械が全部してくれるのは本当に最高。防除作業を委託できるのであれば、面積をもう少し増やしてもいい」と防除の機械化を喜びます。

高齢化だけでなく人手不足も加わり、労力の負担に頭を悩ませる生産者は少なくありません。無人農薬散布機が認知され、農家の強い味方となることが期待されます。加えて、この取り組みが産地の維持、拡大にも一役買ってくれることを願います。

